

【信濃町公共交通住民説明会 質疑応答】

1. 実施概要

実施概要は、以下のとおり。

[実施概要]

日時	場所	参加人数	
		午後の部	夜の部
平成 24 年 2 月 21 日(火)	野尻湖支館	50	4
平成 24 年 2 月 22 日(水)	総合体育館	19	4
平成 24 年 2 月 23 日(木)	総合会館	46	9
平成 24 年 2 月 24 日(金)	富士里支館	23	6

※各回、午後の部（14:00～）と夜の部（18:30～）からの2回実施

2. 議事次第

(1) 新公共交通についての説明

- ・ 信濃町 公共交通再編の背景と方向性
- ・ 運行の詳細 -路線バス-
- ・ 運行の詳細 -ふれあいコスモス号（乗合タクシー）-
- ・ 事前登録用紙の案内

(2) 質疑応答

3. 質疑応答の内容

質疑応答の内容は以下のとおり。

(1) 路線バス／国道線について

① 各地区での運行内容／利用方法

Q：新しい路線に「六月」のバス停はないのか？

A：熊坂・野尻湖線に「六月」のバス停がある。

Q：国道線でも、「六月」のバス停を設置できるようにしてもらいたい。

A：国道線の路線を変更することは現段階では難しい。六月は国道線が比較的近い地区であるため、国道線のバス停まで出てきてもらいたい。

Q：古海・菅川線の利用者が、まちなか方面（柏原等）に行くときはどうすればよいのか？

A：「熊坂」バス停で、古海・菅川線から、熊坂・野尻線に乗り換えてもらう。

② 小中学生の利用

Q：国道線は、小中学生の利用を対象としていないのか？

A：運行時間帯的に、国道線は小中学生の利用を対象としていない。ただし、小中学生が利用できないわけではない。

Q：小学生の乗降には時間がかかる。路線バスのダイヤは、小学生の乗降時間に配慮してもらいたい。

A：小学生の乗降時間に配慮したダイヤ設定となっている。

Q：小学校低学年の乗降を補助してくれる人を配置して欲しい。

A：教育委員会を通じて、慣れるまでは上級生に下級生の乗降に付き添ってもらえるように指導する方針である。また、教育委員会で乗降補助ボランティアを探している。

③ バス停の設置

Q：現行の「ふれあい号」には停留所の看板がないため、どこでバスを待てば良いかわからない。新しい路線バスには、バス停看板を設置して欲しい。

A：全停留所に、バス停看板を設置する予定である。

(2) ふれあいコスモス号について

① 利用者の制限

Q：ふれあいコスモス号は、高校生も利用できるのか？

A：高校生も、ふれあいコスモス号も利用できる。半日授業の時などに利用していただきたい。

② 自宅への送迎／待機方法等

Q：ふれあいコスモス号は、自宅まで迎えに来るのか？

A：自宅まで迎えに行く。

Q：自宅に到着したら、運転手が家まで声をかけに来てくれるのか？

A：運転手は、運転席を離れることができないので、家の前に出ていただきたい。

Q：降雪時には、どこまで来てくれるのか？

A：降雪時、自宅まで車両が入れない場合は、車両が入れるところまで出てきていただく。

③ ダイヤへの要望

Q：JRに接続するために、1便の集落9:40発を30分ほど早くして欲しい。

A：出来る限り、JR接続ができるようにダイヤを設定した。運転手が路線バスからふれあいコスモス号に乗り換える際に時間がかかるため、どうしてもダイヤを動かせないところがある。

別の JR に接続している便があるので、他の時間帯を利用していただきたい。
また、接続については、今後、見直しを図る中で対応していきたいと考えている。

Q：黒姫駅に 20:55 に到着する JR の利用者が非常に多い。この時間帯は、冬場など道路が凍っているため、歩いて帰るのは厳しい。また、駅前で飲酒した時のことを考えても、21 時くらいの方が、利便性が高まると考えられる。

A：今後、検討をする。

④ 予約した便が利用できない時の対応

Q：例えば予約していた帰りの 11:30 便に乗り遅れた時は、どう対応すればよいか？

A：タクシーを使うなど、個別に対応していただきたい。複数の科目診療を受ける場合は長引く可能性があることは、事務局も想定している。そのため将来的には、直前の予約ができるようにし、次の便も利用できるようにしていきたい。

Q：受付や運行の体制が慣れてきたら、当日の予約もできるようになるとの事だが、次の便を当日に予約できるようになるということか？

A：そのような方向性で進めている。間に合わない場合は、予約便のキャンセルの電話をしてもらう。その時に、次の便の利用の可否を確認していただきたい。

Q：次の便を利用する際、人数が多いときは断られることになる。その場合は、どう対応すればよいか？

A：タクシーを使うなど、個別に対応していただきたい。

Q：通院の際、帰りの時間が遅れて、ふれあいコスモス号に乗れない時は、取り消しの電話を入れた方が良いのか？

A：そうしていただきたい。

⑤ 高齢者、耳が不自由な方への対応

Q：耳の不自由な方は FAX で予約をできるようにしていただきたい。

A：今後検討する。

Q：耳が遠く電話をするのが億劫な高齢者が利用する場合、予約は家族が代りにすればよいが、予約キャンセル電話をすることが難しい場合がある。信越病院の受付でキャンセルできるように、病院に依頼していただきたい。

A：基本は、キャンセルの電話をしていただきたい。最初は不便なところもあるが、ご了承いただきたい。信越病院には、その旨を打診する。

⑥ 車両への持ち込み

Q：ふれあいコスモス号の車内に、シルバーカーや杖の持ち込みは可能か？

A：可能である。

⑦ 事前登録

Q：登録用紙の提出期限はあるのか？

A：初めて利用する前までであれば、いつでも構わない。

Q：事前登録をしないと絶対に利用できないのか？

A：事前登録がなくとも利用はできる。ただし、最初の予約で時間がかかることになる点については、了承してもらう。

Q：利用者登録は個人単位で登録しなければならないのか。世帯登録ではダメなのか？

A：家族でも利用方法が異なるため、個人での登録をお願いする。

(3) 運賃／運賃施策について

① 運賃の値上げ

Q：ふれあい号は、これまで1乗車200円だった運賃が300円になり、1.5倍の値上げである。運賃は維持してほしい。

A：運賃は、近隣自治体の状況を調査し、おおよそその基準に合わせているので、ご理解いただきたい。

② 福祉バス券

Q：高齢者に対する福祉バス券は継続するのか？

A：継続する予定である。福祉バス券は、路線バス、ふれあいコスモス号、国道線で利用できる。また、それぞれに障がい者等の割引運賃が設定しており、その割引運賃適用後に、残りの運賃を福祉バス券で支払うことも出来る。

(4) 町外在住者の利用について

① 観光客の利用

Q：新しい公共交通は、観光客などの町外の人も使えるのか？

A：定時定路線、国道線は町外の人も使えるが、ふれあいコスモス号は町民のみ利用できる。

Q：ふれあいコスモス号は観光客が利用できず、平日運行のみとなると、土日に来訪する観光客の移動手段はどうなるのか？

A：現在、観光客の移動手段については、観光政策として検討している。具体的には、観光客に対して黒姫駅からタクシー補助券を出す方向で検討を進めている。駅の改札を出たところで、初乗り運賃を助成するチケットを発行するものである。行き先は、黒姫高原や野尻湖などの主要な観光地を想定している。

② 別荘住民の利用

Q：別荘住民は、ふれあいコスモス号を使えるのか？

A：まずは住民票を持っている人が対象である。利用状況を踏まえて利用対象者を拡大するかどうかは今後検討する。

Q：観光客向けタクシー補助券は、別荘住民は利用できるのか？

A：これから内容を詰めていくため、未定である。現段階では、別荘住民は、信濃町に来る時は観光客に近い扱いになるが、滞在中は住民的な扱いになるのではないかと考えている。

(5) 情報提供について

① 個別説明会の開催

Q：高校生向けの説明会をした方が良いのではないか？

A：高校生も参加できるように、説明会は夜の部も設けている。

また、時刻表は新聞折込で全戸に配布を行うとともに、主要施設にも貼り出す予定である。

② 時刻表の掲示

Q：時刻表は、金融機関にも貼り出してほしい。

A：貼ってもらえるかは確約できないが、金融機関に依頼する。

(6) その他

① 協議会の設置場所

Q：協議会が設置されているというが、どこに設置されているのか。電話番号は？

A：役場内に事務局が設置されている。電話番号は役場の代表番号にかけていただきたい。